



**Pick Up News** 今号では今年度の資格試験で合格した人の声を紹介しています。普段の学業に加えて資格のための勉強の時間を取ることは、とても大変なことだったかと思いますが、その苦労の上に合格された皆さんには心からお祝いを申し上げます。建築士試験については、(高校)大学での学びもその基礎になっていることは言うまでもありません。本学部では、卒業時には全員が一級建築士試験の受験資格が得られるカリキュラムとしています。資格取得は、建築・建設の仕事に携わる上でのゴールではなく、スタートとなるわけですが、その取得を夢見て、また目指して大学に入学した人も少なくないと思います。あらためて初心を思い出して、将来の目標設定してみてください。さて後期も大詰めです。1~3年生は一年の締めくくりとなります。今年度を振り返りながら、悔いの残らない時間を過ごして下さい。そしておよそ2ヵ月間に及ぶ春休み、普段できないことをするチャンスです。新年度に向けてエネルギーと気力を蓄える時間として下さい。4年生は卒業論文・設計の追い込みとなります。最終発表に向けての作業中かと思いますが、4年間の集大成です。最後の発表はわずか10分程度ですが、その時間に4年間の学びの成果と思い出をすべてを込めるつもりで準備して下さい。1月号が2月の発刊となってしまいました。原稿を寄稿してくれた皆さんありがとうございました。

## 2022年度の建築士及び宅建士に合格した皆さん おめでとうございます！

### 一級建築士学科試験合格

M1 木藤 優弥 くん

### 二級建築士合格

- M1 大沼 翔 くん  
 4年 石田 隆斗 くん  
 4年 吉田 有佑 くん  
 3年 武田 隼 くん  
 3年 奥山 ちさと さん  
 3年 佐藤 真大 くん  
 3年 木村 悠希 くん  
 3年 金野 和希 くん  
 2年 加藤 健太朗 くん  
 2年 菅原 愛 さん  
 2年 長沼 瑚南 さん  
**宅地建物取引士合格**  
 3年 船木 理沙 さん  
 2年 高村 都夢 くん  
 2年 渡辺 陸斗 くん



合格者の声 (一部) をお届けします。いずれ全員の声を冊子にして配付します。

2級建築士試験に合格したことは、とても嬉しく思っています。学科試験では、大学の課題とアルバイト、資格の勉強の両立に苦しみました。地下鉄通学の時間を活用してコツコツと知識を積み重ねることを意識しました。本番直前では自分のやるべき事に優先順位を付けて、アルバイトの出勤日数を減らし、勉強時間を増やしました。大学の講義や課題は試験問題に直結するので、本気で取り組むことがおすすめです。また、4科目ある問題集を試験本番までそれぞれ4周以上解いたことが自信に繋がりました。設計製図試験では、作図スピードが遅い事が課題でした。夏休みを利用して1日1枚本番と同じレベルの図面を描き続けました。腱鞘炎になったり、時間を意識しすぎて上手く作図が出来なかったりと苦労も多かったですが、合格するイメージを持ち続け、諦めないことが大切だと思います。今回の受験を通して人生で一番勉強しました。合格することができた今では、大きな自信に繋がっています。これから受験を考えている方は、本気で取り組みばきっと合格を勝ち取れると思います。頑張ってください！(奥山 ちさとさん)

私は、学科試験・製図試験ともに資格学校に通学し、二級建築士合格に向けて勉強を行いました。工業高校卒業ということもあり、学科の内容は学んだことのあるものが多かったため、取り組みやすかったです。しかし、法規は苦手だったため、法令集にたくさん線を引き、すぐに開けるように場所を覚えながら勉強しました。学科試験を通して感じたことは、過去問を何周もすることの大切さでした。本試験では、過去の文章のままや、過去の文章を言い換えているだけなど新傾向の問題もありましたが、ほとんどは過去問だったため、改めて過去問の大切さを感じました。それから、製図試験は学科合格後2ヶ月程度という少ない期間での学習でした。宿題の量や講義で学ぶことは多く、競争試験のため書くスピードや綺麗さなど他者の作図を見ることができたのも自分の糧になったと思います。学科試験・製図試験ともに、毎日の積み重ねと長期間の学習なので諦めないことが資格合格につながったと感じました。(菅原 愛さん)



約10ヶ月間宅地建物取引士の勉強をしました。最初は自分にとって正しい勉強方法も分からないし、学習を進めても理解出来ないことが多く合格できるか不安でしたが、友人や家族の沢山の支えがあり合格したので、良い報告が出来て良かったです。私が行った勉強方法は、過去問を解いてテキストに戻って間違えた問題の周辺知識や正解しての問題の確認を繰り返し、知識を定着させました。この資格は人気があるため年々難易度が上がっていて過去問だけ覚えるのでは合格が難しくなっているのでテキストに戻って復習することが大切だと思います。要点を抑えることと勉強を毎日継続することを意識すれば合格できると思います。宅地建物取引士に限らずほかの資格試験でも受験する方は忍耐強く頑張ってください。(高村 都夢くん)

**Pick Up Lab.** こんにちは！錦織研究室です。今回は研究室の雰囲気と、主な活動を紹介します。メンバーは、建築に対してとても真面目に、向上心の高い3年生9名で活動しています。雰囲気はとてもメリハリのある印象で、オンとオフをしっかりと切り替えて楽しみながら学習しています。今年度の主な活動は「あずまや学生コンペ」への参加です。皆で意見を出し合いながら作成し、特別賞を取ることが出来ました。他の研究室の3年生や先輩方との交流会もあり縦と横の繋がりもでき、充実した活動が行えています！興味を持っていただけた方、錦織研究室でお待ちしています！（錦織研究室 3年菅野暉）



あずまや学生コンペでの発表の様子



福屋研究室とのコンペ反省会の様子



4年 三品 亮祐 くん  
白石高校 出身

**Pick Up Student** 私は大学院に進学するため、この2年間は学生として過ごせる最後の期間になります。建築の勉強をすることで専門性を高めることも大切ですが、大学生ならではの経験をする必要だと考えます。学部時代のアルバイトや旅行、お酒やギャンブルで失敗することでさえも良い経験でした。大学院では、コロナで行けなかった海外で新しい文化を知ることや最近始めた様々な業種の経営者や社会人、東北の学生の交流を目指す学生団体を大きくすることなどに研究の合間を使ってチャレンジします。その中で自発的に活動を行い、新しい学びや体験を経験できるように精進していきます。最後まで読んでいただきありがとうございます！



2年 長沼 瑚南 さん  
盛岡工業高校 出身

**Pick Up Student** 大学生活にも慣れてきた中、授業の難易度が昨年よりも上がり、より質の高い授業を受けることができていると実感しております。建築学の授業にも様々な種類があるため、一つ一つの授業が新鮮で新しい発見を毎回見つけることができます。また、大学の授業とは別に今年は二級建築士の試験に挑戦しました。そういった面においても建築に関する知識をつけることができる環境が整っていると感じています。自主的にやりたいことを見つけることで自分を成長させることができていると考えています。残り約2年の学生生活を充実させたものとするために、将来のことを考えながら今まで以上に自主性をもちたくさんのことを経験していきたいと思っております。